

リビア公開入札鉱区の落札について ～日本企業として初めてリビアにおける探鉱事業に参入～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森輝夫、当社100%出資会社)は、本日(現地時間10月2日)、大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒーリーヤ国(以下「リビア」)の首都・トリポリにおいて国営石油会社であるNational Oil Corporation (NOC)が実施した石油・天然ガスの探鉱鉱区に関する第2回公開入札(26鉱区)に参加し、下記のとおり2鉱区を落札しましたので、お知らせいたします。

リビアは世界有数の原油・天然ガスの埋蔵量を有しながら、未だ十分に探鉱・開発に着手されていない鉱区が多数存在しています。当社グループはかねてよりその原油・天然ガスの高いポテンシャルに注目し、本年9月にはトリポリに連絡事務所を開設するなど、鉱区権益の取得に向けた準備を進めてまいりました。

なお今回の入札は、下記のパートナーと共同で入札に参加し落札したものであり、日本企業として初めてリビアにおける探鉱事業に参入いたします。

記

| 鉱区名 | 2-1/2 | 40-3/4 |
|-------------------------|---------------------------|---|
| 鉱区位置 | 地中海沿岸部(海上) | 地中海沿岸部(海上) |
| 鉱区面積 | 4,904Km ² | 4,571Km ² |
| 権益比率 | 新日本石油開発 ● 90% 三菱商事 10% | 新日本石油開発 ● 38% 石油資源開発 ● 42% 三菱商事 20% |
| 探鉱期間総投資予定額 (パートナー合計) | 約60億円 | 約40億円 |

●オペレーター

取得鉱区位置図

取得艦区位置図



以上